

輸送動向について(8月分)

平成18年9月

1. 輸送概況

今月の運転状況は上旬に台風7号が接近した他、中旬の台風10号の上陸に伴い活発化した前線の影響で北海道・東北地方が大雨に見舞われた。さらに下旬には名古屋地区の局地的な大雨等による輸送障害が発生した。なお、7月13日より土砂流入災害のため不通となっていた羽越線小岩川駅～あつみ温泉駅間は8月9日に運転再開した。これらの影響により、高速貨222本、専貨17本が運休した。

荷動きについては、上旬は盆休前の先送り需要があったものの、羽越線不通の影響が一部にあった他、中旬以降は大雨による輸送障害の影響等も受け、低調に推移し、輸送量全体では前年比101.0%となった。

コンテナ貨物では、一部品目の輸送終了により減送となった化学薬品が前年を下回ったものの、猛暑により清涼飲料水の出荷が強勢となった食料工業品の他、自動車部品、積合せ貨物等などが前年を上回り、コンテナ全体では前年比104.1%となった。

車扱貨物では、石灰石及び化学工業品などが前年を上回ったものの、石油、セメント、紙・パルプが前年を下回り、車扱貨物全体では前年比96.3%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,832	1,760	104.1%	9,277	9,003	103.0%
車 扱	1,108	1,150	96.3%	5,194	5,447	95.4%
計	2,940	2,910	101.0%	14,472	14,451	100.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	83	77	6	107.8%
	生野菜青果物	75	74	1	101.4%
	化学工業品	180	171	9	105.3%
	化学薬品	130	136	-6	95.6%
	食料工業品	295	281	14	105.0%
	紙パルプ等	313	302	11	103.6%
	他工業品	126	118	8	106.8%
	積合せ貨物等	204	191	13	106.8%
	自動車部品	48	42	6	114.3%
	エコ関連物資	34	34	0	100.0%
	その他	344	334	10	103.0%
	コンテナ計	1,832	1,760	72	104.1%
車 扱	石 油	685	709	-24	96.6%
	セ メ ン ト	87	117	-30	74.3%
	石 灰 石	64	58	6	110.3%
	車 両	125	119	6	105.2%
	紙・パルプ	27	44	-17	62.7%
	化学工業品	45	36	9	126.0%
	その他	73	67	6	109.3%
車 扱 計	1,108	1,150	-42	96.3%	
合 計		2,940	2,910	30	101.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)